



5月の園だより



令和5年5月 富田林市立川西幼稚園

大人になったあなたを支えるのは、子ども時代のあなたです

園長 石田 安志

夏も近づく八十八夜。米の由来

米という文字は、八と十と八からできています。そして、私たちは今日までに食べたもので構成され、今日までの経験から学んだことで行動を決定しています。

5月からたんぼ組の3歳児クラスも給食が始まり、いよいよ本格的な幼稚園の生活が始まります。子どもたちは、まだ、好き嫌いもあるし食べるスピードも違う中での給食です。嫌いなもの、食べたことのない味に戸惑うのは当たり前です。しかし、少ない体験で成長の土台を狭めてしまうのはもったいない。富田林市の給食センターは、近年リニューアルし近代的な設備と徹底した栄養管理の給食です。小学校と同じメニューなので入学後のギャップもありません。さらに、富田林市が給食にかかる費用の半분을補助してくださっていますので215円の給食には430円以上の価値があります。

また、育ち盛りの子どもたちが、食について興味を持ち、安全な食を選ぶ力を身につけることができ、生涯にわたって計り知れないメリットを享受できるでしょう。

朗報！今年のPTA役員さんからの要望で給食参観を給食試食会にする計画です。

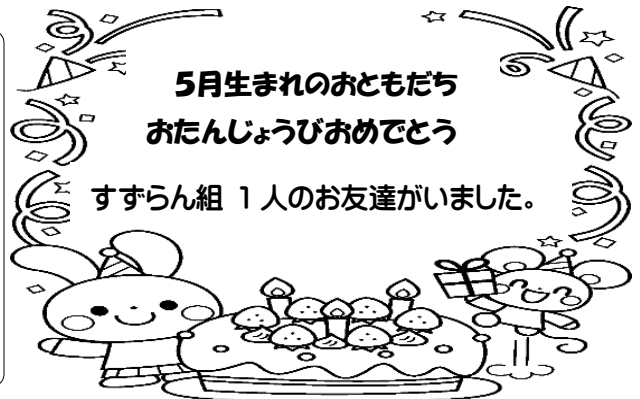
先日のPTA総会でも好き嫌い(人・モノ)についての話が出ました。「ピーマンが嫌い、ニンジンが嫌い。」と好き嫌いがあることは認めたくなくて、存在は否定せずに苦手なものとの距離をコントロールすることも必要だとお話ししました。

すべて好きなのが理想ですが、それを強要するよりは距離をコントロールするのもアリだと思います。いくら好きなものでも、毎日毎日では嫌いになってしまうし、嫌いな物でも、たまにならば気にならないこともたくさんあります。ピーマンの存在も、ニンジンの存在も否定してはいけません。なぜなら、何かを嫌うことはエネルギーを無駄に消費して疲れてしまうからです。また、ピーマンやニンジン好きな人まで否定することになります。自己受容・他者理解はコミュニケーションの大切な基礎となります。

登園時、受付で「今日はどんな気分？」という問いに対しても少しずつ自分との対話ができるようになってきていると思います。子どもが困ったことを言いだした時にも慌てて教えようとしなくて、優しく「どうして、そう思ったの？本当はどうしたかったの？」と耳を傾けてください。

育てたいこと 5月のねらい

- 5歳児 *友達と思いや考えを伝え合って遊ぶ。
*自然に触れ、新たな発見や興味を深める。
- 4歳児 *好きな遊びを見つけ、先生や友達と一緒に楽しむ。
*身の回りのことを進んで自分でやってみようとする。
- 3歳児 *先生や友達に親しみを感じ、一緒に過ごすことを楽しむ。



5月生まれのおともだち
おたんじょうびおめでとう

すずらん組 1人のお友達がいました。